

キャラクター名  
雨霧 葵

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エンジェルハイロウ		ワークス	暗殺者	カヴァー	執事
	オプション		年齢	22	性別	男
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35 %	
出自	疎まれた子	経験	空白期間?	殺傷	邂逅	ようやく、生きることに意味を見出した

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	5	1	0			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	2		RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転:自動車	2		芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
純愛	P	N		
REC: 桜葉 佳怜	P 純愛	N 不安		
役目	P 執着	N 不安		
雷のように現れた女	P 執着	N 嫉妬		
天倉 羽琉	P 好奇心	N 無関心		
成宮 雄一	P 好奇心	N 無関心		
屋敷を燃やした男	P	N 嫉妬		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
赫き猟銃	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 攻撃力+(Lv*2+4) 射程20mの射撃武器作成 武器使用時HPをLv点失う 破壊の血使用可能								
破壊の血	3	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果: 前提: 赫き剣or赫き猟銃 作成武器の攻撃力を+(Lv*3) G値+5 ただしHP2点消費								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
滅びの一矢	5	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果: ダイス+(Lv+1) HP2点消費								
小さな塵	1	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果: 攻撃力+(Lv*2)								
不死者の恩寵	1	5	クリンナップ	至近	自身	自動	-	
効果: HPを(Lv+2)D+【肉体】点回復 戦闘中以外 シーン/1回								
ウサギの耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 聴覚の指向性を高め10km以上離れた針の落ちた音も聞こえる 必要なら知覚								
生命治療	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: オーヴァードには効かないが、対象の怪我や病気を治療する HP1点失う 必要ならRC								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

あまぎり あおい

性格は優しく丁寧そうに見える。ただそれだけ。本当は口調はそこまで良くなく、お嬢様以外には冷たい。実は恋心を抱いており、他の人と喋るたびに嫉妬でイライラするが、表に出すことはない。最近色々な所に尾行してでもついていこうとしているらしい。

「女性みたいな名前してますよね・・・? まぁ両親から付けられたものでし変えるのも面倒ですから仕方ないですね。ともかく、私の役目はお嬢様をお守りすることですから。その為にある程度紅茶の淹れ方とかも学んだんですよ。料理も洗濯も掃除も全部お嬢様の傍にいたためだけに覚えたんです。え? 一般教養が少し足りない・・・? そうですね、私は頭は良くない方なのでその辺りでは迷惑をかけてしまうかもしれません。なので教えていただければと思います。ところで最近庭園に植えた花が咲いたんですよ。雑草を抜いて肥料をあげて水をやった甲斐がありました・・・。とても綺麗なのでは非公覧になって下さい」

「ってお嬢様ではないのか、話して損したよ。お前に用はないから消えてもらってもいいか?」

[PC4]  
君は名家に生まれたPC3の付き人だ。  
君は主を愛している、美しかったからなのかもしれないし生きざまに惚れたからなのかもしれない。  
そしてそんな主を、自分がずっと守り続けると思っていた。  
...でも、より強大な力には敵わないときだってあるのだ。

その日、屋敷が燃えている光景を見て立ち尽くす主の、その隣に駆け寄ろうと走り出した先に突如として稲妻が現れ、道を塞いできた。

シナリオロイス【雷のように現れた女】